

議案第 2 号

石川中央都市圏地域公共交通計画 計画変更（案）

北陸鉄道線の持続可能性確保（石川線・浅野川線）について、関係自治体等で協議を行った結果、北陸鉄道石川線の鉄道として存続、「みなし上下分離方式」の導入、北陸鉄道線の利便性向上や運転士不足対策への取組実施が整ったため計画を変更する。

（変更内容）

- ・北陸鉄道石川線を鉄道として存続
- ・「みなし上下分離方式」の導入による鉄道施設等の更新や維持管理に係る費用の負担
- ・北陸鉄道線の利便性向上策と運転士不足対策等の実施
- ・上記の取組を実施するため、石川県を計画の策定主体として追加

石川中央都市圏地域公共交通計画 新旧対照表

改正案	現 行
<p data-bbox="405 528 913 564">石川中央都市圏地域公共交通計画</p> <p data-bbox="568 1166 741 1198">令和5年3月 <small>(令和6年8月変更)</small></p> <p data-bbox="495 1299 810 1321">石川中央都市圏地域公共交通協議会</p> <p data-bbox="367 1350 938 1372">石川県・金沢市・白山市・かほく市・野々市市・津幡町・内灘町</p>	<p data-bbox="1368 531 1877 568">石川中央都市圏地域公共交通計画</p> <p data-bbox="1532 1169 1704 1201">令和5年3月</p> <p data-bbox="1458 1302 1774 1324">石川中央都市圏地域公共交通協議会</p> <p data-bbox="1368 1353 1861 1375">金沢市・白山市・かほく市・野々市市・津幡町・内灘町</p>

2) 北陸鉄道線の持続可能性確保（石川線・浅野川線）

①北陸鉄道線再構築事業の実施

- ✓ 北陸鉄道線について、大量輸送機関としての公共交通は、地域にとって今後も必要であり、バス運転士不足などの状況を踏まえると、BRT（Bus Rapid Transit）[※]化は難しいことから、鉄道として存続させるとともに、住民の利用を促すための取組を行います。
- ✓ 存続に当たっては、国の制度を迅速かつ最大限に活用できる「みなし上下分離方式」を導入することとし、鉄道施設等の更新や維持管理に係る費用を県、沿線市町も負担します。（鉄道事業再構築事業）
- ✓ これにより、北陸鉄道線の経営の持続可能性を確保するとともに、北陸鉄道の負担が軽減されることで、北陸鉄道自らが主体的に鉄道線の利便性向上（鉄道事業再構築事業、地域公共交通利便増進事業）や運転士不足対策等の取組を行います。

具体的な取組		実施スケジュール				
		R5	R6	R7	R8	R9
・「みなし上下分離方式」の導入と利便性向上策・運転士不足対策等の実施		方向性の議論決定		決定方針に向けて取組実施		
実施主体						◎：主体、○：連携
行政	交通事業者	民間企業	地域・住民			
◎金沢市、白山市、野々市市、内灘町 ◎石川県	◎北陸鉄道	—	—			

②安全運行を確保するための施設・設備の維持・整備

- ✓ 北陸鉄道石川線・浅野川線は、大量輸送機関として石川中央都市圏の通勤・通学などの移動を支える重要な交通手段です。
- ✓ ①の検討状況も踏まえつつ、北陸鉄道石川線・浅野川線の安全運行や利便性を確保するため、国、県、沿線市町による設備投資等への支援を継続する（鉄道事業再構築事業）とともに、新たに県、沿線市町により維持管理に係る経費についても支援を行います。

具体的な取組		実施スケジュール				
		R5	R6	R7	R8	R9
・国、県、市町による設備投資の支援 ・県、市町による維持管理費の支援		支援の継続		「みなし上下分離方式」による支援の開始		
実施主体						◎：主体、○：連携
行政	交通事業者	民間企業	地域・住民			
◎金沢市、白山市、野々市市、内灘町 ◎石川県	◎北陸鉄道	—	—			

※バス高速輸送システム

2) 北陸鉄道線の持続可能性確保（石川線・浅野川線）

①上下分離を含めた北陸鉄道線の存続や、石川線のバス転換・BRT化の選択肢の検討

- ✓ 経営状態の厳しい北陸鉄道線の今後の方向性を議論すべく、関係自治体等で協議を行っています。
- ✓ 大量輸送機関としての公共交通は、地域にとって今後も必要であり、北陸鉄道から要望のあった上下分離方式の導入（鉄道事業再構築事業）も含め、行政として何らかの対応策を検討する必要があります。
- ✓ 鉄道線（石川線・浅野川線）の存続のほか、特に輸送人員の減少している石川線については、現状、バスなどと乗継いで利用する方の利便性を高める観点から、バス転換やBRT（Bus Rapid Transit）[※]化（道路運送高度化事業）などの選択肢も検討し、サービス面の改善（地域公共交通利便増進事業）を踏まえた持続的な運行を目指します。

具体的な取組		実施スケジュール				
		R5	R6	R7	R8	R9
・石川中央都市圏交通ネットワーク強化推進協議会分科会にて鉄道線の今後の方向性を議論		方向性の議論決定		決定方針に向けて取組実施		
実施主体						◎：主体、○：連携
行政	交通事業者	民間企業	地域・住民			
◎金沢市、白山市、野々市市、内灘町 ◎石川県	◎北陸鉄道	—	—			

②安全運行を確保するための施設・設備の維持・整備

- ✓ 北陸鉄道石川線・浅野川線は、大量輸送機関として石川中央都市圏の通勤・通学などの移動を支える重要な交通手段です。
- ✓ ①の検討状況も踏まえつつ、北陸鉄道石川線・浅野川線の安全運行や利便性を確保するため、国、県、沿線市町による設備投資等への支援を継続します。

具体的な取組		実施スケジュール				
		R5	R6	R7	R8	R9
・国、県、市町の協調による設備投資の支援		支援の継続				
実施主体						◎：主体、○：連携
行政	交通事業者	民間企業	地域・住民			
◎金沢市、白山市、野々市市、内灘町 ◎石川県	◎北陸鉄道	—	—			

※バス高速輸送システム